

【準備物】

- (1)NB モルタル G115
- (2)水（水道水か飲料水） ※有機物不純物や酸性物質を含む水はセメントの水和を阻害するため適しません
- (3)シール用モルタル（必要な場合）
- (4)練り混ぜ容器（トロ箱、ペール缶）
- (5)ミキサー（モルタルミキサー、ハンドミキサー）
- (6)水ため容器（ドラム缶、バケツ）
- (7)計量容器（小バケツ）
- (8)鍬 ※その他は工法と工事規模に応じた工具、機械を用意します

【前工程】

1. 下地処理

下地がコンクリートやモルタルの場合は下地表面のレイタンスと汚れを、ワイヤーブラシ等を用いて完全に除去し、掃除します。

2. 型枠組み

一方から注入して反対側から充填を確認できるよう、また、強固に組みます。

3. シール

型枠の周囲を 1：3 モルタルでシールします。

4. 水湿し

下地のコンクリートやモルタルが吸水しなくなるまで十分に水湿しを行ってください。

【練り混ぜ】

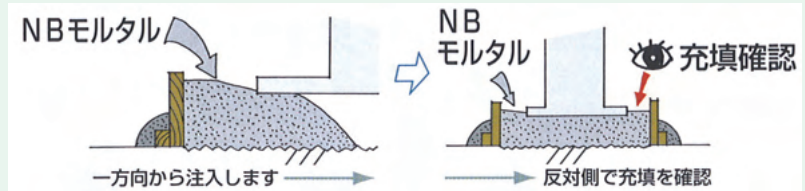
- ・モルタルミキサーで練り混ぜる場合は、本製品をモルタルミキサーに入れ、ミキサーを回転させながら清浄な水を所定量加え、希望する軟らかさになる様に本製品と水の量を調整してむら無く練り混ぜます。
- ・ハンドミキサーで練り混ぜる場合は、練り混ぜ容器に所定量の清浄な水を入れ、本製品の半分を入れて練り混ぜます。よく練り混ぜたら本製品の残りの半分を入れ、さらによく練り混ぜます。

※加える水の量は J 口ート 6 ～ 10 秒の範囲に調整してください

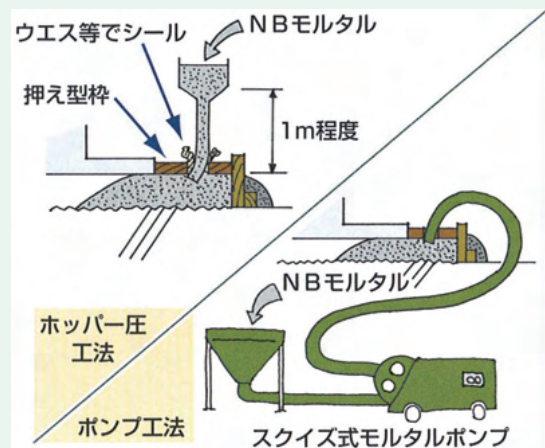
【施工】（工法別）

工法を選定して、練り混ぜた本製品を型枠に注入します。
注入は1方向から行い、出口側で充填を確認します。

●ヘッド圧 （柱脚等のオープンな箇所）



●ホッパー圧 （機械等少し長さのある箇所）



●ポンプ工法 （搬送距離のある場合や圧入する場合）

【養生】

施工が完了したら乾燥や凍結を防止し、
適温・適湿な状態で1週間以上養生します。

